

平成23年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	吉川 真一
事務事業名	学校司書補配置事業			担当者	茶園 勝久
所管部課名	教育委員会 教育総務課			事業の根拠 (根拠法令)	学校図書館法
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	幼児教育・学校教育等の充実
				施策 (項)	学校教育の充実
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	教育総務費		目	事務局費
	事項	事務局管理費		細事項	事務局管理費

事業の概要

全小中学校に学校司書補を配置し、学校図書館の運営を充実する

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を,何を対象とする事業か)	学校(小中学校)	事業開始年度			平成20年度	
	手段 (市がどのような活動をするか)	学校司書補を配置する	活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名	児童生徒読書量調査		
				最終目標値	1回/年		
				最終年度	平成25年度		
	意図 (どのような目的で 事業を行うか)	学校図書館の管理運営の向上と児童生徒の読書活動の推進	成果指標 (活動をした上で、目標となる 成果をどのように設定する か?)	指標名	1ヶ月あたりの読書冊数(小学校)		
				最終目標値	10.5冊		
最終年度				平成25年度			

コスト・指標の推移	項目		単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 (見込み)	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)
	事業費	国・県支出金	千円					
その他								
一般財源		53		55	52	52	52	
合計(A)		53		55	52	52	52	
	従事職員数	人	0.10	0.10	1.10	1.10	1.10	
	人件費(B)	千円	800	800	8,800	8,800	8,800	
	従事嘱託員数	人	23.00	24.00	23.00	23.00	23.00	
	人件費(C)	千円	38,863	40,855	39,749	39,749	39,749	
	トータルコスト	千円	39,716	41,710	48,601	48,601	48,601	
	活動指標の推移	回/年	1	1	1	1	1	
	成果指標の推移	冊	7.4	8.4	9.0	9.5	10.5	
		冊	1.9	2.2	2.5	2.8	3.0	

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

旅費(費用弁償)

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 単独校の児童生徒数や複数校の担当学校数を考慮し、司書補の職務体系の改善を図り、更なる業務の充実に努める必要がある。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 全国的に公立学校の司書(補)は、当該自治体が職員を配置している例やPTA配置に補助金を支出する形態をとっている。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 事業費は、年3回の研修会旅費と講師謝金程度であり、削減できない。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 学校数は少なくなるが、当面現状の人員を確保し、実質的な増員としていきたい。
有効性	成果の達成度 <input type="checkbox"/> かなり高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 司書補自身が周囲の期待に応えるために、学習意欲が向上しており、アンケート調査においても、概ね良好な評価がされている。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 司書補の更なる能力向上により、児童生徒の学習の基礎となる読書習慣が確立することにつなげたい。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 読書習慣を身につけることは、子どもたちにとって非常に重要であり、本事業については、アンケート結果や読書冊数などに一定の成果が見られることから、継続することとしたいが、本事業開始後、倉野小学校(H21)、平良・野下小学校(H22)の3校が閉校し、今後も学校再編基本方針に基づく統廃合が見込まれており、これに対応していくこと、また、より効率的かつ効果的な運営に向け手段の改善が必要である。
内部評価 (二次)	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 平成22年度は嘱託職員を1名増員し、学校数の多い下飯地域に配置して学校毎の巡回回数を増やしたところである。事業開始後3年が経過し、今年度は学校グループの見直しと併せて、嘱託の配置について全面的な見直しを行う予定である。また、従来から実施している研修の充実を図るとともに、嘱託職員の自主的な研修活動への支援を行ってまいりたい。
	評価者名 内部評価結果 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 低い 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) 学校再編の基本方針を踏まえた配置基準の明確化と職務研修の充実の検討